

令和5年度の雪対策に関する取組の検討

除排雪事業の業務体制

●除雪センター機能の集約

◎合理的な除雪センター運営に向け、課題となっている担い手不足に対応するため、要望の少ない深夜帯の要望窓口を集約

○取組の結果

- ・道路や気象状況の変化に応じて排雪作業の前倒しや暖気対策など機動的な対応に努めた
- ・改善要望4,964件のうち深夜帯282件
除雪センター開設日142日のうち深夜帯の要望件数が5件以上あった日は10日
(要望がなかった日は82日)



除雪センター機能の更なる集約と充実

働き方改革への対応「2024年問題～時間外労働の罰則付き上限規制の適用開始～」
《人的リソースの有効活用と合理的な除雪センター運営に向けた取組を推進》

除雪センター機能の更なる集約と充実

- ・除雪センターの管理機能の集約・充実【検討】
⇒「主センター」には統合地区の総合的な窓口として除排雪計画などの管理機能や市民からの改善要望の窓口を集約するなど「支所センター」の役割も合わせて業務内容の見直しを検討
- ・パトロール体制の充実による現場機能の強化【検討】
⇒各地区のパトロール体制の充実を図り除雪センターの現場機能を強化するため除雪センターの人員配置など検討
- ・支所センターの開設期間の検討【検討】
⇒合理的な除雪センターの運営に向け「支所センター」の開設期間の見直しを検討
・改善要望の件数は排雪作業のハイシーズン（12月から2月）に集中
・11月の改善要望は全体の3%以下

ICTの活用による除雪DXの推進

- ・除雪作業の省力化や効率化による生産性の向上
- ・除排雪作業の安全性の向上による働きやすい環境づくり

●要望処理体制の向上

◎多様化する苦情・要望に対応し、要望処理の正確性を向上するため、全除雪センターに通話録音を導入

○取組の結果

- ・通話録音の実施に対する苦情等なし
- ・余裕をもった要望処理や聞き間違いにより発生するトラブルの防止



要望処理体制の正確性の向上

《令和5年度も通話録音を継続》

路面管理手法の検証

●路面管理手法の試行の継続

◎令和3年度から新たな路面管理手法の検証として、圧雪を薄く管理する取組を試行的に実施

○取組の結果

- ・1月中旬に暖気対策として圧雪厚が厚い箇所の削り取り作業等を全市的に実施
- ・局所的に路面状況が悪化したが広い範囲での路面の悪化はなし
- ・排雪作業がスムーズに進みモデル地区内外で道路幅や圧雪の差が少ない状況
- ・低温傾向が続き圧雪路面が安定



路面管理手法の比較が難しいシーズン

《令和5年度も試行と検証を継続》

日中除雪の検討

●日中除雪の試行

◎作業環境の厳しい除排雪業務に携わる担い手の減少などに対応するため、持続的に除雪作業が行えるよう除雪作業を試行的に日中に実施

○取組の結果

- ・作業効率の低下 ⇒ 夜間作業と比べ作業時間が約1.5倍
- ・夜間と比べ一般交通の影響を受けやすい



作業方法・時間帯・安全性の確保
夜間と日中の業務体制確保

《令和5年度も試行と検証を継続》

歩道（通学路）の除雪

●通学路などの歩道除雪の検討

◎狭い歩道は除雪車で作業が困難、堆積スペースがないと車道が狭くなる、担い手の確保など厳しい状況を踏まえた持続可能な歩道除雪のあり方や交差点の見通し確保の手法について検討

○取組の結果

- ・小中学校に冬期間の安全マップや除排雪要望箇所の調査を実施し現地確認
- ・安全マップの一部箇所で除雪方法の工夫や除雪センター常駐のショベルによる見通し確保



厳しい状況での持続可能な歩道（通学路）の除雪

《除雪方法の工夫や歩道除雪のあり方など検討継続》